



江 渡 防 衛 大 臣 来 沖



江渡防衛大臣が、平成二十六年九月二十二日～二十三日の日程で、大臣就任後初めて沖縄を訪れました。

二十二日は仲井眞沖縄県知事と面談し、翌二十三日には、平和祈念公園において戦没者墓苑に献花した後、宜野湾市の嘉数高台から、佐喜眞宜野湾市長の御説明を受けながら、普天間飛行場を視察しました。また、牧港補給地区や、来年三月末に返還が予定されているキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区を視察し、帰京しました。

○上部写真…江渡大臣(左)と仲井眞沖縄県知事(右)との面談 ○左上写真…平和祈念公園を訪問 ○左下写真…嘉数高台において佐喜眞宜野湾市長(右)から説明受

目 次

江渡防衛大臣来沖	1
第3回普天間飛行場負担軽減推進会議の開催	2
管内閣官房長官の沖縄訪問	5
平成26年度防衛大臣及び沖縄防衛局感謝状の贈呈	6

CONTENTS

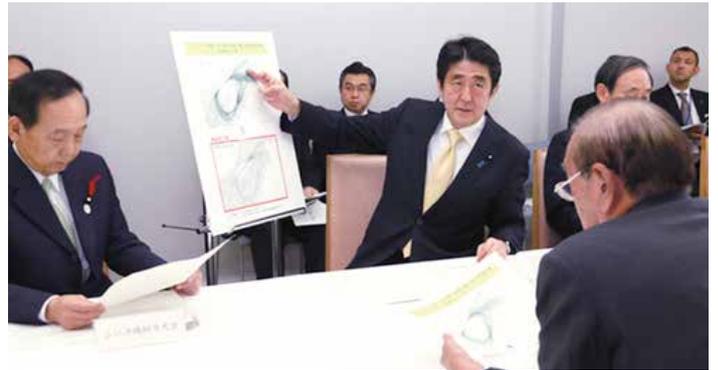
東富士演習場土地契約問題協議会が沖縄を視察	6
災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立入りについての現地実施協定の締結	7
平成26年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式	8

第3回普天間飛行場負担軽減推進会議の開催

平成 26 年 10 月 20 日、安倍内閣総理大臣も出席の上、関係閣僚や仲井眞沖縄県知事、佐喜眞宜湾市長で構成される「普天間飛行場負担軽減推進会議」の第 3 回会合が開催されました。

冒頭、安倍総理から、安倍内閣は「言葉」だけでなく、実際の「行動」で、負担軽減に取り組んでいく旨を述べられ、次の内容を総理から仲井眞知事や佐喜眞市長に説明しました。

- ・ 沖縄の負担軽減策に係る日米共同発表
- ・ 日米地位協定の環境補足協定の実質合意
- ・ KC-130 の岩国移駐完了及びその効果の検証
- ・ オスプレイの沖縄県外における訓練等の増加に向けた取組



【出典：首相官邸HP】

負担軽減策に関する日米共同報道発表のポイント

1. 日米地位協定の環境補足協定に実質合意

【実質合意した協定の概要】

- (1) **環境基準**：米国政府は、「日本環境管理基準（JEGS）」を発出・維持。
同基準は、**両国又は国際約束の基準のうち、より厳しいものを一般的に採用。**
これには現に発生した環境事故（漏出）への対応及び防止を含む。
- (2) **立入り**：次の 2 つの場合において、日本の当局が米軍施設・区域への適切な立入りをを行うための手続の作成・維持。
 - ① 現に発生した**環境事故（漏出）後の立入り。**
 - ② 土地の返還に関連する**現地調査（文化財調査を含む。）のための立入り。**
- (3) **財政措置**：日本政府は、環境に配慮した種々の事業等のために米側に資金を提供。
- (4) **情報共有**：日米両政府は、利用可能かつ適切な情報を共有。

2. 普天間飛行場移設／オスプレイ等の沖縄県外への訓練移転

- ・ 日本は、オスプレイを含む米軍機の沖縄県外への訓練移転促進に係る米国の取組を歓迎。**米国は、訓練移転の取組を継続する意図を再確認。**
- ・ **陸上自衛隊による本土におけるティルト・ローター機のための施設整備の取組を考慮**し、日米両政府は、米国の運用上の所用を満たす利用可能な施設・区域があることを条件として、**日本国内のその他の場所において訓練を実施するための同様の方法を検討。**
- ・ **米国政府は、在沖縄海兵隊が地域の他の場所における訓練活動を増加させるための方法を探求。**

3. 嘉手納飛行場以南の土地の返還

- ・ 2013 年 4 月の統合計画に基づく土地返還の取組の継続を確認。
- ・ 日本は、米国との緊密な調整の下、**土地返還プロセスの加速化**のための取組を継続、強化（特に牧港補給地区）。
- ・ 在沖縄海兵隊のグアム移転の完了は、統合計画に基づく土地の返還を促進。

KC-130の普天間飛行場から岩国飛行場への移駐

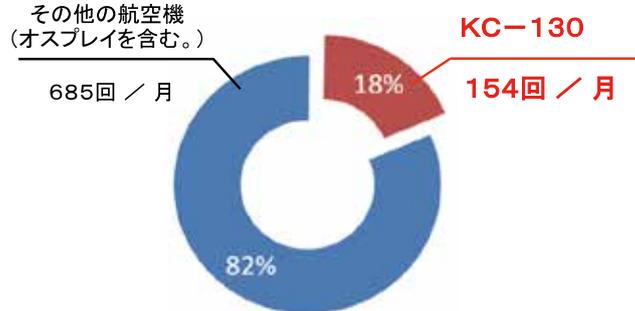
- 本年7月15日から開始した移駐は、**8月26日に完了し、平成8年のSACO最終報告から18年越しの課題が達成**されました。
- 普天間飛行場に所在する固定翼機の大部分が沖縄県外に移駐し、また、移駐に伴い軍人、軍属及び家族約870名も転出することになりました。



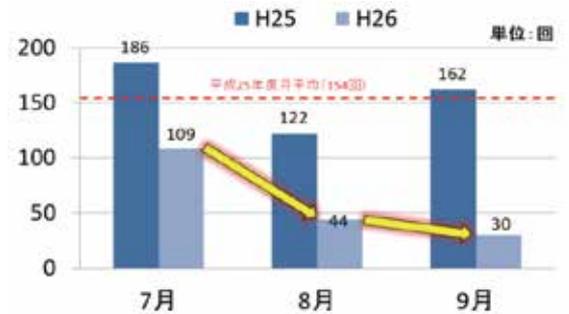
(7月15日沖縄での出発式典の様子)



普天間飛行場における離着陸等回数のうち KC-130が全体に占める比率 (平成25年度)

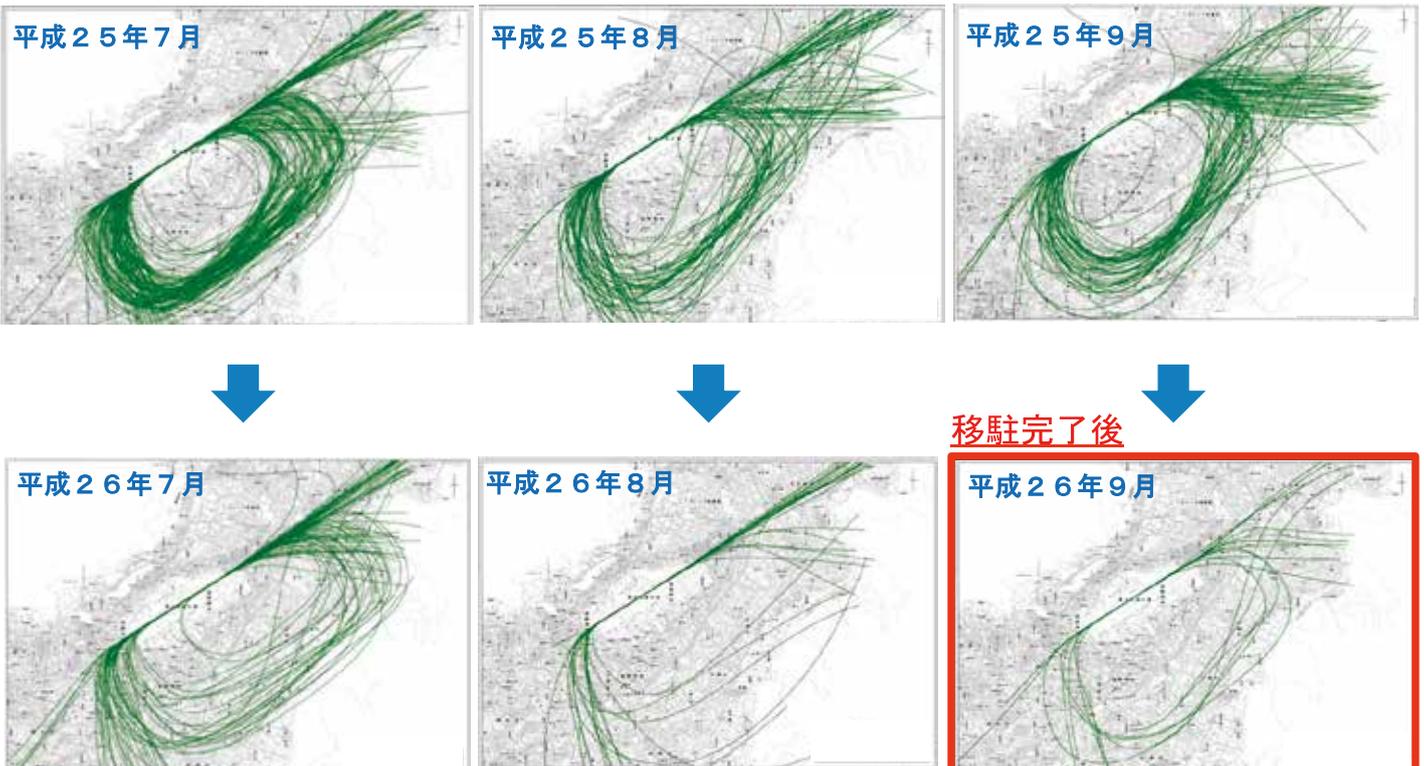


移駐開始後のKC-130の普天間飛行場における離着陸等回数の推移



※離着陸等回数は、普天間飛行場周辺に設置している高所カメラの映像から確認できたもの。また、土日、祝日(米軍の祝日を含む。)及び地元行事日等は含まない。

普天間飛行場におけるKC-130の飛行状況(航跡図の比較)



※1 移駐開始:7月15日、移駐完了:8月26日
 ※2 いずれも、土日、祝日(米軍の祝日を含む。)及び地元行事日等は含まない。

MV-22オスプレイの沖縄県外における訓練等の促進

1 沖縄県外における訓練等の計画・実施状況

【今年度】	岩国訓練 (山口県)	横田訓練 (東京都)	厚木訓練 (神奈川県)	キヤノン富士訓練 (静岡県)	東富士訓練 (静岡県)	北富士訓練 (山梨県)	岩国展示 (山口県)	横田展示 (東京都)	丘珠展示 (北海道)	父島飛行・展示 (東京都)	訓練移転(支援) (グアム)	防災訓練 (和歌山県)	横須賀訓練 (神奈川県)	航空観閲式 (茨城県)	日米豪防災訓練 (宮城県)	日米共同訓練 (熊本県)	日米共同訓練 (場所・時期未定)
-------	---------------	---------------	----------------	-------------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	------------------	-------------------	----------------	-----------------	----------------	------------------	-----------------	---------------------



※その他、米軍単独で国外(タイ、フィリピン、韓国等)の演習や運用に参加

【昨年度】	岩国訓練 (山口県)	日米共同訓練 (滋賀県)	新田原展示 (宮崎県)	訓練移転(支援) (グアム)	日米防災訓練 (高知県)	日米防災訓練 (高知県)	日米共同訓練 (新潟・群馬県)
-------	---------------	-----------------	----------------	-------------------	-----------------	-----------------	--------------------

昨年を上回る計画を立案し、実行に移しています。

米軍の単独訓練等(本土)
 グアム訓練移転
 日米共同訓練
 防災訓練
 展示等行事
 (注)赤枠は実施したものの



佐賀空港

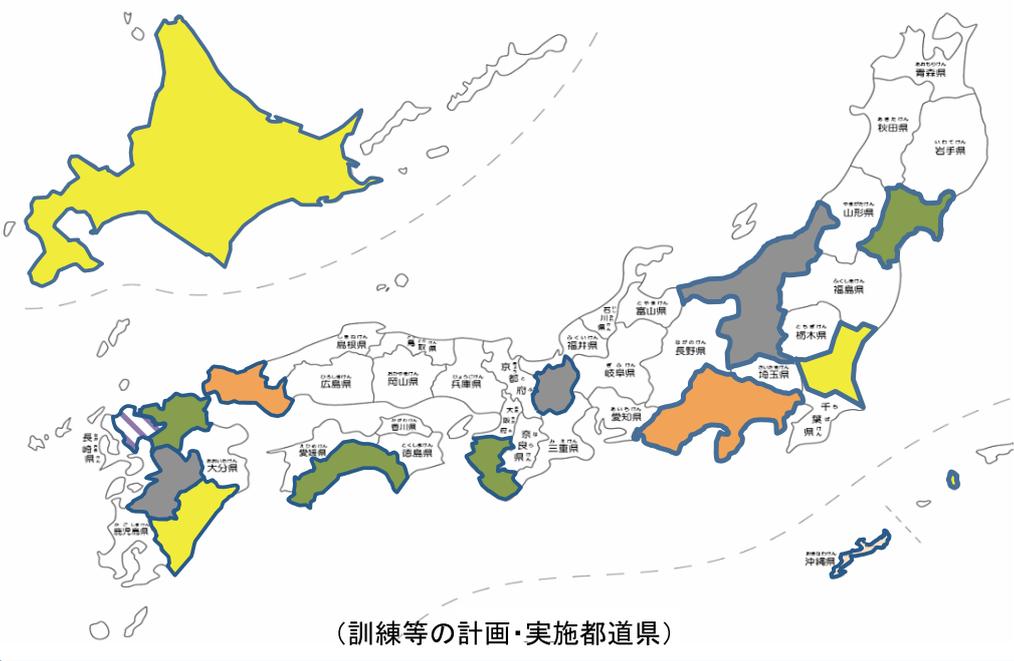
(左藤副大臣による佐賀県知事への説明)

2 「訓練基盤・拠点」の整備

- 米海兵隊による佐賀空港の利用について、地元をお願いしています。
 - 7月22日 武田前防衛副大臣(古川佐賀県知事等)
 - 8月13日 武田前防衛副大臣(小川福岡県知事)
 - 8月25日 小野寺前防衛大臣(古川佐賀県知事等)
 - 9月 1日 九州防衛局長(佐賀県議会、佐賀市議会)
 - 10月 6日 左藤防衛副大臣(古川佐賀県知事等)
 - 10月15日 左藤防衛副大臣(小川福岡県知事等)
- 佐賀空港以外についても、整備の実現に向け検討を進めています。

3 地元の理解と協力の確保

- 訓練等の計画に係る説明努力を継続しており、これまでに、約70自治体への説明を行いました。また、小笠原村議会による飛来要請、群馬県榛東村議会による訓練等受入れ決議も承っています。
- 今月9日には、岩国市議会議長を始めとした本土の米軍基地所在市町議会議員の皆様方から、各地で、沖縄の基地負担軽減を考えていく旨の議会意志が示されているとの報告を頂きました。



(訓練等の計画・実施都道府県)



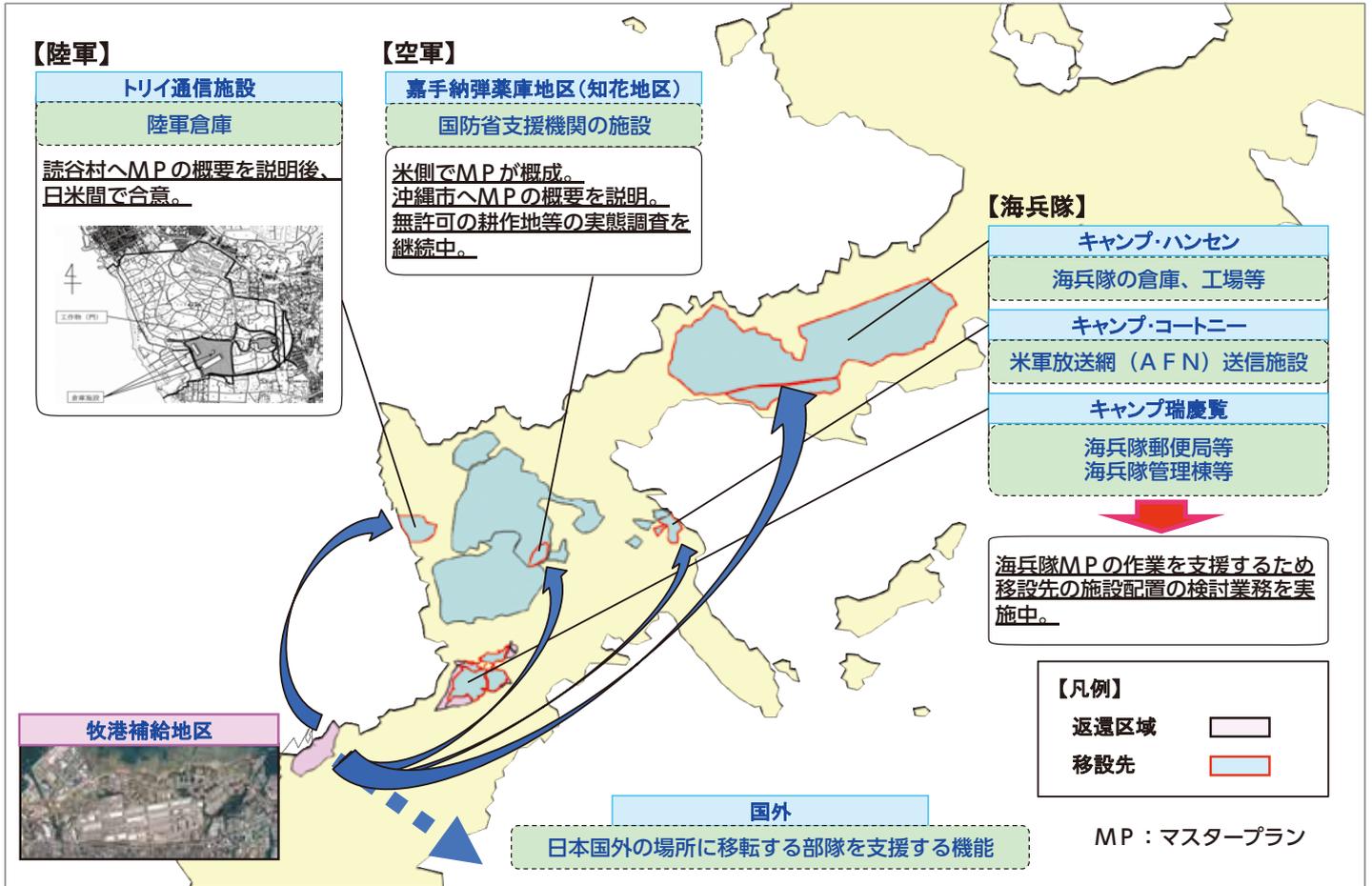
(榛東村議会による決議・要請)



(小笠原村父島における飛行時)

米軍の単独訓練等
 日米共同訓練
 防災訓練
 展示等行事

牧港補給地区の返還に向けた取組



菅内閣官房長官の沖縄訪問

沖縄基地負担軽減担当大臣を兼務する菅内閣官房長官が、9月17日、沖縄を訪問しました。菅長官は、空自那覇基地からCH-47ヘリコプターに搭乗し本島上空を視察した後、那覇市内において、仲井眞沖縄県知事及び佐喜眞宜野湾市長との懇談を行いました。その後、普天間飛行場において、ウィスラー在沖米四軍調整官やマグルビー沖繩米国総領事との会談を行った後、来年3月に返還予定のキャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区を視察しました。



CH-47ヘリから上空視察する菅内閣官房長官 (写真左)



ウィスラー四軍調整官及びマグルビー総領事との会談

平成26年度防衛大臣感謝状及び沖縄防衛局長感謝状の贈呈

平成 26 年 10 月 25 日、防衛大臣感謝状贈呈式がグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）において行われました。これは平成 26 年度自衛隊記念日行事の一環として、防衛協力功労や自衛官募集で功績のあった方々を表彰するもので、個人 70 名、66 団体に江渡防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

沖縄防衛局関係では、当省の防衛施設の安定的使用と防衛基盤の育成等に多大な貢献をされた防衛協力功労者として、伊集盛久東村長、古波蔵廣名護漁業協同組合代表理事組合長に感謝状が贈呈されました。また、御都合により御出席が叶わなかった外間守吉与那国町長におかれましては、与那国町役場において伝達式が行われ、井上局長から感謝状が伝達されました。

また、11 月 4 日には、ビーチタワーホテル（北谷町）にて、沖縄防衛局長感謝状贈呈式が行われ、金城宏沖縄県漁業無線協会会長、眞喜志康明沖縄市軍用地等地主会会長、又吉信一宜野湾市軍用地等地主会会長、上原亀一八重山漁業協同組合代表理事組合長及び（株）丸政工務店に対し、井上局長から感謝状が贈呈されました。

【沖縄防衛局長感謝状贈呈】



平成26年度 沖縄防衛局長感謝状贈呈式

【防衛大臣感謝状贈呈】



伊集東村長（写真左）及び古波蔵名護漁協組合長（写真右）と江渡大臣との記念撮影



外間与那国町長（左）に感謝状を贈呈（於：与那国町役場）

前列左より、上原八重山漁協組合長、又吉宜野湾市地主会会長、金城無線協会会長、井上局長、眞喜志沖縄市地主会会長、（株）丸政工務店 上原代表取締役

東富士演習場土地契約問題協議会が沖縄を視察

東富士演習場土地契約問題協議会（会長：若林洋平御殿場市長）の会員 36 名の皆様が、沖縄県内の米軍施設等の視察を目的とし、沖縄を訪問されました。

10 月 2 日に沖縄に到着した協議会の皆様は、普天間飛行場を施設外から視察された後、沖縄防衛局を訪問されました。当局では、職員から業務概況説明をさせていただき、その後、庁舎屋上から嘉手納飛行場を視察されました。



普天間飛行場を視察

今般の視察については、当局が微力ながらお手伝いをさせていただきましたが、協議会の皆様にとって有意義なものとなっていれば幸いです。

協議会の皆様方には、引き続き防衛行政への御理解を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。



沖縄防衛局での業務概況説明の様子

災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立入りについての現地実施協定の締結

平成 26 年 9 月 29 日、キャンプ・ハンセン内パームスクラブにおいて、米海兵隊太平洋基地司令官と金武町長との間における災害準備及び災害対応のための現地実施協定締結の署名式が行われました。

署名式において、キャンプ・ハンセン基地司令官マックブライド大佐は、「本当の災害救援活動がないことを願っています。しかし万が一にも災害が発生した場合、私たちは準備が整っていることを確信しています。協定は、私たちがこれまで培ってきた強固な相互援助の体制を正式なものとしします。」また、仲間金武町長は、「海拔の低い地域から、高台へ早急に避難できる避難経路と避難場所を確保する必要があります。合同避難訓練を通して、町とハンセンとの協力関係が一層深まるものと期待しています。」と挨拶されました。

この協定の締結に伴い、金武町伊芸区民は、キャンプ・ハンセンのゲート 42 を通って、同基地内のスペースを一時避難場所として利用できるようになり、金武町金武区民は、ゲート 46 を通って、同基地内を通過し、金武町陸上競技場に避難することが可能になりました。

署名式には、金武町及び米側を始めとする関係者の方々が出席し、災害に対する両者の協力関係が今後一層深まることが確認されました。

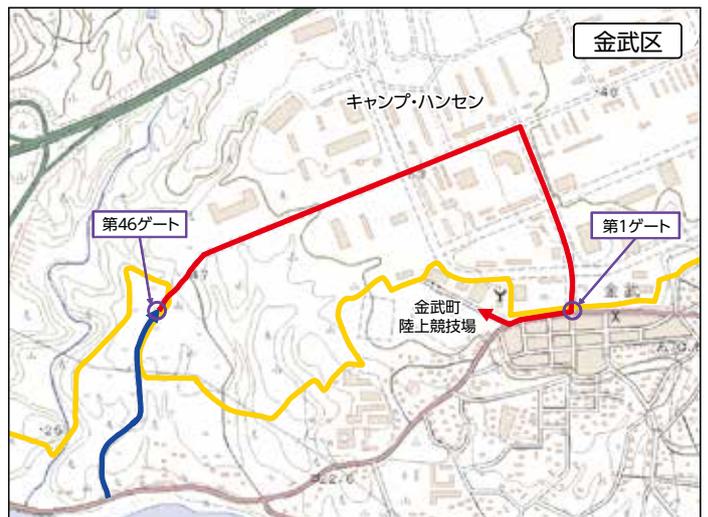


仲間金武町長とキャンプ・ハンセン基地司令官マックブライド大佐が現地実施協定に署名



金武町長、キャンプ・ハンセン基地司令官及び署名式に出席された関係者

【キャンプ・ハンセンのゲート位置図】



平成26年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

台風 19 号が過ぎ去った 10 月 15 日、清々しい晴天の下、防衛省及び在日米軍の共催による沖縄県内の米軍施設に勤務する在日米軍従業員の永年勤続者表彰式（本年度対象従業員 855 名）が、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場ホールにおいて、仲井眞沖縄県知事、マグルビー沖繩米国防領事及び與那覇全駐労沖繩地区本部執行委員長をはじめとする来賓の御臨席を頂き、盛大に挙行されました。

永年勤続者表彰式は、井上局長及び沖縄地域調整官代理沖繩調整事務所長デタタ大佐の式辞に続き、局長及び各軍司令官等からそれぞれの代表者（各軍等代表者及び受賞者数 陸軍：屋宜宣之様ほか 113 名、海軍：山城美代子様ほか 54 名、空軍：照屋充様ほか 298 名、海兵隊：山城紀枝子様ほか 241 名、沖縄エクスチェンジ：島袋達也様ほか 144 名）へ表彰状と記念品が授与されました。その後、来賓の方々から祝辞を頂き、受賞者を代表して屋宜盛福様（海兵隊従業員）が答辞され、肅々とした中にも心温まる表彰式となりました。

表彰式終了後行われた懇談会では、和やかなムードで各軍司令官等と受賞者の皆様との記念撮影や談笑があちこちで見られ、参加された方々はさらに親睦を深めたようで、にこやかな笑顔が印象に残った1日となりました。

仲井眞沖縄県知事祝辞



受賞者代表への表彰状授与



受賞者代表からの答辞



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
 連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室
 メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp